

の結成に努力する。

か、の如き現狀は如何なる權力を以てするも、斷じて抑壓しをはせるものではない。一部労働組合その他無産団体の幹部が、柳屋と過勞にへきまきして、政黨運動から遠ざかり「中立主義」或は冷眼視（幹部の怠慢）せんとする場合、一般組合員が之を激勵し鞭達してこれ等の幹部を動かして居る事實のあることは、これを如實に物語るものではないか。

然るに無産階級の立場になりながら無産階級の政黨は、思想的精神的の一致点を見出さざる限り完全に結成さるべきでないと論ずる者がある。この論據が、僅かに數百若しくは數千の組合員を有する労働組合の理論的指導者の組合利己心に立脚した暴論たることは明かであるが、しかも、かくの如き暴論が、ブルジョアジーによつて庇護せられたつことを觀破すると同時に、これによつて吾々がブルジョアジーのために漁夫の利をせめられつつあることを注意しなければならぬ。

もとより無産階級政黨は小數の幹部專制によつて指導さるべきではなくて、政策上では飽くまでも黨員が十分に討議して最大多數者の決するところに従つて行動すべきであるが、思想的精神的の分離は、階級的にブルジョアジーと反對の極面に立つといふ——一致点——現實によつて防止すべきである。

政黨が大衆的階級的黨たらんがためには、理論に立脚する思想的精神的の一致による結合は、多くの危険性をともなふものである。大衆の要求——最近なる現實の要求に立脚することが大衆的階級的無産政黨の任務である。

従つて、吾々は黨の暴論を、階級的裏切として排除しなければならぬ。

この故に民憲黨は過去の經驗と現在の情勢に顧みて次の如き運動方針を決定すべきである。

- 一、全國的大衆的無産階級政黨の樹立運動を支持することなる一、あらゆる無産団体と直接密接なる共同戦線に立つこと。
- 一、全國的大衆的無産階級政黨が結成した場合はこれと合併すること。
- 一、政黨的中立主義者を大衆に曝露すること。
- 一、精神的の一致論者と抗争すること。
- 一、無産階級の陣營にあつてブルジョアジーと結托する者を排撃すること。

### 方法

## 黨費徴收の件

ブルジョアジーの政黨は議員（國會府縣會市町村會）を中心とする政黨である。彼等議員は再び立候補せんが爲めに平常選挙者を手廻らしてをいて選挙期にはこれを自らのために利用しようとする。のみならず彼等は數千圓數万圓の運動資金を投じて或は買収し、或は叩頭し、或は情實をたどつて拉き落とす等、例へ、それが政黨の公認候補と名づけるも事實上於ては候補を自薦したものであつて、手段を撰ばずあらゆる方法によつてより多くの票數を獲得せんと努める。

従つて彼等は、議員たるの間一方にはこの勞費の回收をはかると同時に、他方、選挙者と悪因縁の消滅せざらんことに留意する。而して、彼等は前者を、大小の利權獲得と、輕薄なる名譽欲の満足に。後者を、利權の分配と年次の大會の御馳走政策によつて達成しつつある。

然るに、無産階級政黨は、議員を中心とせず、綱領、運動方針、教育方針その他の決議に基く政策を

正大なる選挙者に備つて當選したまふべき第一